

# 防災案内人による地域防災活動 ～明るく住みよい元気なまち～



広島県呉市 呉昭和自主防災連合協議会  
会長 松田 政和

## 1 はじめに

私たちの住むまち昭和地区は、呉市北西部の閑静なベッドタウンで、人口約3万3千人の「明るく住みよい元気なまち」をスローガンに掲げ特色あるまちづくりを進めています。

当地区は、今まで大きな災害を経験したことがなく、これまで安心して生活し続けることができると思い暮らしてきましたが、近年激しい雨や豪雨、台風、地震などによる災害が近隣地域で発生するようになり、地域の防災意識の向上が必要とされる中、地区自治会連合会の支援を受け平成26年2月に呉昭和自主防災連合協議会が結成されました。

## 2 私たちは防災案内人

当会は、自治会からの推薦や自主的に参加したボランティア「防災案内人」と呼ぶ34名で設立されました。安全に安心して暮らせる「日常生活の中で取り組む防災」を活動の柱にして、自治会の中に組織された自主防災会（40団体）ほか住民グループや児童生徒を対象に、出前防災教室をはじめ防災体験フェア、地域イベント、小学校防災学習等々を実施し、年間を通じて防災啓発活動に取り組んでいます。

### 1) 防災出前教室

自治会の自主防災会や高齢者サロンに出向き、年間約2,300人の方々に防災啓発を行い日常生活の中で防災を考えるきっかけづくりに取り組んでいます。

### 2) 防災体験フェアと地域イベント

年1回小学校区を中心に各種団体の協力を得て地域性や地理的条件に沿ったテーマを決め「防災体験フェア」を開催しています。

また、イベント（ふれあいフェスティバル等）の運営に積極的に参画し、遊びの中に防災を

取り入れて学ぶコーナーなど、子どもや若い世代の防災意識を育む活動にも取り組んでいます。



防災教室の様子



防災体験フェアの展示コーナー



ふれあいフェスティバルの防災コーナー

### 3) 小学校防災学習への連携協力

地区内の小学校（4校）と連携協力し社会学習の一環として4年生の子どもたちを対象に、「防災まち歩き」を通じた防災マップづくりを行っています。マップの完成後は、児童、

保護者、参加された住民の方々といっしょに“自分の命は自分で守る”という意識の共有を図っています。

また、あわせて学校周辺の名勝や山をまち歩きのコースに加え、故郷を大切に思う気持ちを育てる学習にも関わらせていただいています。



防災まち歩き後のマップづくり

### 3 これからの活動

防災案内人による啓発が少しずつですが地域に浸透しつつあり、各自主防災会での防災訓練が定着し始めています。

しかしながら広範囲に発生した平成30年西日本豪雨災害は「避難する」という点だけにおいてもあまりにも大きな課題を残しました。例えば、地区内小学校の授業等に出向き、体験型の指導に関わるほか、保護者や地域住民も巻き込んで連帯を図りながら、地域特有の要素を取り入れ早期避難行動に重点的に取り組むことが必要なことではないか、私たち防災案内人は今回の災害をきっかけに試行錯誤を重ねています。

私たちが住むこの昭和地区から「一人の犠牲者をも出さない」このことを最大のテーマにし、住民重視の防災活動を更に進めていきたいと考えています。

- ・講話から対話（ワークショップ）へ
- ・受け身の防災教室⇒押しかけ防災教室
- ・防災まち歩きで住民の方々の意識付け
- ・防災学習、行動できる子どもたちへ
- ・多世代への防災減災の普及・啓発



わがまち防災マップ作成例

#### 1) 防災マップの見直し

地質や地形、環境はそれぞれの地域によって異なります。学校区単位の広域マップから自治会単位、更に危険性が高い地域を絞り込んだ「わがまち防災マップ」の作成と表示等の見直しを進めています。

#### 2) 避難行動呼びかけ体制づくり

災害時の避難行動の在り方が課題となっています。「昭和地区から一人の犠牲者を出さない」を念頭に、避難行動の呼びかけ体制づくりを進めています。危険性の高い地域にモデルとなっていたいただき、県、市と連携して計画づくりを進めています。

#### 3) その他の活動（研修、交流）

防災案内人の人材育成を目的に、呉市の防災リーダーフォローアップ研修や広島県自主防災アドバイザー（11名取得）研修等を受講し、防災に関する知識、技術の向上を図っています。

また、防災案内人及び地域住民を対象にした外部講師による防災関連の講座（土砂災害時の避難等）を開催し、地域内の防災力向上に努めています。

